

- 問1 オーストラリアの輸出統計において、1960年時点では輸出額の第1位を占めていたものの、2010年代後半には鉄鉱石や石炭といった鉱産資源にその座を譲った、かつての主要な農産物は何ですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 石油                      2. 綿花                      3. 天然ゴム                      4. 羊毛
- 
- 問2 オーストラリアにおける1960年から2020年にかけての輸出品目の変化と、その背景について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、1960年当時は羊毛が輸出額の40.5%を占めていたものとします。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. かつては羊毛などの農産物が輸出の中心だったが、現在は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めている。                      2. 広大な土地を利用した大規模な農業から、現在は付加価値の高い自動車や電子部品などの機械類の輸出へと移行した。                      3. かつては鉄鉱石などの鉱産資源が中心だったが、現在はアジア向けの肉類や小麦といった農産物の割合が急増している。                      4. 1960年代から現在に至るまで、乾燥した気候を活かした羊毛の輸出が常に輸出総額の第1位を維持している。
- 
- 問3 主要国の発電電力量のエネルギー源を比較したとき、豊富な水資源を背景に水力発電が全体の6割以上を占め、風力や太陽光を含めた再生可能エネルギーの割合が全体の約7割に達している国はどこですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. フランス                      2. ドイツ                      3. サウジアラビア                      4. ブラジル
- 
- 問4 新興国として急速な経済成長を続けているブラジルの産業の特色について、その背景や理由を説明したものとして適切なものはどれか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石などの豊富な鉱産資源の輸出に加え、近年ではバイオ燃料の開発や航空機産業、自動車産業などの工業化が進んだため                      2. 国民総所得は南アメリカの中で最も低い水準にあるが、コーヒー豆などの特定の農産物の輸出のみに特化することで安定した成長を遂げたため                      3. 南アメリカで最も人口が少ない国であることを活かし、IT産業に特化して付加価値の高いサービスを周辺国に提供する戦略をとったため                      4. エネルギー資源を完全に輸入に頼っているため、国内の経済混乱を防ぐ目的で外国企業の進出を厳しく制限し、自国の伝統産業を保護したため
- 
- 問5 南アメリカ大陸のアンデス高地に住む人々は、現地の環境に適応した家畜を利用して生活しています。その家畜の毛を材料とし、防寒や紫外線を防ぐための衣服や帽子を作っていますが、この動物の名称として適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. トナカイ                      2. アルパカ                      3. ラクダ                      4. ヤク
- 
- 問6 チリが世界の銅鉱石生産量において30%を超える高いシェアを持ち、世界第1位となっている背景や現状について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 広大なアマゾン川流域の熱帯雨林において、近年の森林開発と並行して地下資源の採掘が急速に進んだため。                      2. アンデス山脈の造山活動に伴う火成活動によって形成された大規模な銅鉱床が存在し、古くから開発が進められてきたため。                      3. 大西洋側の広大な平原を利用した農業国であったが、モノカルチャー経済を脱却するために近年初めて銅の採掘を開始したため。                      4. アジア諸国からの投資によって、世界第2位の中国や第3位のペルーを合計したよりも多い生産シェアを、ここ数年で初めて達成したため。
- 
- 問7 日本におけるカボチャの入荷量について、国内産の流通が減少する1月から5月にかけて、ニュージーランド産の入荷量が増加して国内産を補うような対照的な動きが見られます。このように、ニュージーランドから特定の時期に農産物を輸入できる地理的な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 赤道より南に位置するため、日本と季節が反対になるから                      2. 広大な乾燥帯が広がっており、大規模な灌漑施設を利用して生産しているから                      3. 熱帯地域に位置しており、一年を通じて高温多湿で栽培が可能だから                      4. 北半球の中緯度地帯に位置し、日本と同じ気候区分に属しているから
- 
- 問8 ある国の統計資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり約23人と比較的低く、穀物自給率では米が100%を超えている一方で小麦が50%を下回り、自動車保有台数が100人あたり約17.6台である国として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. インド                      2. オーストラリア                      3. 中国                      4. ブラジル
- 
- 問9 南アメリカ大陸の地形的特徴について述べた説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大陸の東側に位置するアンデス山脈は、古期造山帯に分類されるなどらかな山地である。                      2. 大陸全体が安定陸塊であり、地殻変動がほとんど起こらないため、地震や火山の被害は存在しない。                      3. 大陸の西側に環太平洋造山帯に属する険しいアンデス山脈が連なり、火山活動も見られる。                      4. 大陸の中央部をアルプス・ヒマラヤ造山帯が貫いており、エベレストのような高峰が並んでいる。
- 
- 問10 南アメリカ大陸の西側に広がる山岳地帯に位置するペルーのクスコのような都市では、標高が高い場所でも育つジャガイモの栽培や、リヤマ・アルパカの飼育が行われています。このような高山地域特有の生活が見られる山脈はどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. ヒマラヤ山脈                      2. アルプス山脈                      3. アンデス山脈                      4. ロッキー山脈
- 
- 問11 ブラジルの産業や社会の状況について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 西アジア諸国と同様に世界有数の産油国として知られ、日本への輸出品の大半を原油が占めている。                      2. 広大な土地を利用した大規模な農業・牧畜が行われており、とうもろこしや肉類が日本への主要な輸出品となっている。                      3. アジアの文化的な影響を強く受けており、国民の約8割がヒンドゥー教を信仰しているため、牛肉の輸出は行われていない。                      4. 南アフリカ共和国と同様に希少金属である白金の産出が盛んであり、日本への輸出において最も高い割合を占める。
- 
- 問12 オーストラリアの内陸部に位置する都市の、1年間を通じた気温と降水量の変化を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 7月の平均気温が約25度と最も高く、降水量は年間を通じて100mmを超える月が多く、南半球の夏に降水が集中する。                      2. 1月と12月の平均気温が約25度と高く、月ごとの降水量はすべて50mm未満であるが、6月から8月にかけて雨量がわずかに多くなる山なりの形状を示す。                      3. 四季の変化がほとんどなく、年間を通じて気温が約10度で一定しており、冬の期間は全く雨が降らない。                      4. 1月の平均気温が10度を下回り最も低く、降水量は年間を通じてほぼ一定で、毎月150mm以上の雨が降る平坦な形状を示す。